

# 桃・梨専門コース

## 募集要項

豊田市内で 桃・梨農家として  
独立自営するまでを  
地元農家、JA、行政が一体となって  
サポートします!!

豊田市農ライフ創生センター

# 1 目的

県内有数の桃・梨産地である豊田市が、この先も桃・梨の産地として維持していくために、また、桃・梨産地と一緒に発展させ、豊田市のブランド品目として盛り上げていくための仲間を募集します。

# 2 内容

## (1) 研修期間

令和3年4月から2年間

## (2) 研修内容

### 【1年目】

講義：愛知県立農業大学校 ニューファーマーズ研修（週1日程度/予定）

農産物の流通、農業経営の基礎、農業簿記の基礎など

実習：市内果樹農家（以下「里親農家」という）のほ場等で1,020時間以上の実践研修

### 【2年目】

実習：里親農家のほ場等で1,200時間以上の実践研修

自己管理ほ場での年間を通じた栽培管理

相談：独立自営に向けた専門家等によるアドバイス

### 【1・2年目共通】

実践研修に関する作業日誌を作成していただきます。

## (3) 研修期間中の支援

農業次世代人材投資事業※（準備型）による最大年間150万円の交付

※交付要件に適合しない場合は、交付されない場合があります。

また、制度改正により、金額等の変更がある場合があります。



## 【研修の全体の流れ例】

実習：里親農家のもとでの実践研修

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
生育	開花 結実期	果実肥大・成熟期				養分蓄積期		休眠期				発芽期
栽培 管理	人工 授粉			除袋・収穫				整枝・せん定				摘蕾
		摘果・袋かけ				秋肥		元肥				芽出し肥
	除草			マルチング								
	薬剤散布										薬剤散布	

(1年目) 講義：農業大学校 ニューファーマーズ研修（週1日程度）

(2年目) 実習：自己管理ほ場での年間を通じた栽培管理

### 3 応募要件

独立自営による新規就農は、農業をツールとして起業することです。IT業やサービス業、製造業などで事業を起こすことと変わりはありません。さらに、農業は自然が相手であり、台風や病害虫による被害など思いもよらない事態が発生することがあります。短絡的な思い付きや現実逃避の就農では、失敗に終わる可能性があります。農業を生涯の職業にすると強い意志で考えている人を募集します。

#### 【要件】

- ・ 昭和48年4月3日以降に生まれた人
- ・ 桃・梨を慣行農法※で栽培する意欲のある人
- ・ 桃・梨専門コース修了後、豊田市内で就農する人
- ・ 将来にわたって豊田市内で農業経営を行う意志のある人
- ・ 原則、これまでに農業次世代人材投資事業の交付を受けていない人
- ・ 2年間の桃・梨専門コースを受講でき、その間の生活が確立できる人
- ・ 里親農家や地域の人々と協調し、地域からの信頼を得ることができる人

※慣行農法：豊田市内の多くの生産者が実施している一般的な農法のこと。

### 4 応募方法

指定の応募用紙に必要な事項を記入のうえ、直接持参または郵送で提出してください。

#### (1) 提出書類

「桃・梨専門コース研修応募用紙」

<http://www.city.toyota.aichi.jp/kurashi/nougyou/kenshu/1027613.html>

#### (2) 提出先

こちらからダウンロードできます ▼

豊田市農ライフ創生センター

〒470-0373 豊田市四郷町松本105番地1

開所時間：月曜日～金曜日 午前8時30分～午後5時15分



#### (3) 提出期限

前期：令和2年10月15日(木) 午後5時必着

後期：令和3年2月26日(金) 午後5時必着

### 5 定員・選考方法

(1) 定員 2名程度

(2) 選考方法 面接、体験実習

(3) 選考結果 面接終了後1週間以内に文書により通知

### 6 選考後から桃・梨専門コース修了までの費用

(1) 桃・梨専門コース受講費用 2万円/年 ※中途返金はありません

(2) 農業大学校 ニューファーマーズ研修 教材費 約1万8,000円

研修会場や実習ほ場への交通費や作業着代、昼食代などは研修生の負担になります。また、受講が決定した方は必ず各自で傷害保険等に加入してください。

## 7 スケジュール

### 【前期】

日程	項目	場所	備考
令和2年 8月24日～ 令和2年10月15日	桃・梨専門コース 募集期間		
令和2年 9月 1日～ 令和2年10月25日	体験実習	里親農家	2日間×2回程度
令和2年10月31日	面接	農ライフ創生センター	
令和2年11月 5日	結果発表	郵送	

### 【後期】

日程	項目	場所	備考
令和2年10月16日～ 令和3年 2月26日	桃・梨専門コース 募集期間		
令和2年10月26日～ 令和3年 2月28日	体験実習	里親農家	2日間×2回程度
令和3年 3月 7日	面接	農ライフ創生センター	
令和3年 3月10日	結果発表	郵送	

※前期で2名の研修生が決まった場合、定員は2名程度ですが後期も募集します。  
将来の桃・梨農家としてふさわしい方は合格とします。

## 8 研修生2人の声

### ● 「桃・梨専門コース」に応募した動機は？

● 2人とも東京のIT系企業で働いていたのですが、仕事と子育てを両立していくには農業もいいな！と思い立って応募しました。

### ● 「豊田市で就農」を決めた理由は？

● 2人の地元に近いところがいいと考えていました。あと、果物が好きで。調べた末に見つけたのが、豊田市の研修制度でした。

● 「里親農家」の元で学べること、知識も資金もない私たちを受け入れてくれるサポート体制が決め手でした。買い物とかの生活情報も、周りの方や担当者に聞けば親切に教えてもらえて、助かっています。

### ● 「研修の雰囲気」について教えてください。

● 本来、通うはずの農業大学校はコロナ渦で6月開講となってしまったので、これまでは実習中心です。4月の摘花では、間違っただら…と緊張しましたが、間違えてもなぜ違うのかを教えてください、なんでも聞きやすく、本当にありがたいです。

### ● 研修後の目標は？

● 消費者に喜ばれる「いいもの」を作り、農家としての生活を確立したいですね。本気で農業に取り組みながら地域の人たちとの交流も深めて、いつかはお世話になっている豊田市に貢献できたらと思っています。

## 9 修了後の主な支援

### (1) 農業資材及び農業機械等に関する支援

就農時に要する経費のうち、農業資材等の購入費を一部助成（要件有）

### (2) 農業次世代人材投資事業（経営開始型）

年間150万円（最大5年間、交付要件有）の交付

### (3) 相談窓口の開設

農業経営アドバイザー等の専門家による伴走支援

### (4) ほ場の斡旋

研修修了後に独立自営が円滑に行えるように、ほ場などの斡旋

## 10 Q&A

**Q**：将来は有機栽培で果樹農家になろうと考えていますが、応募できますか？

**A**：桃・梨専門コースでは、慣行農法での研修を行います。有機栽培を考えている人は、応募できません。

**Q**：住所が豊田市外ですが、応募できますか？

**A**：応募できます。ただし、豊田市内のほ場で独立自営することが条件です。

**Q**：研修2年目の自己管理ほ場とは、どういったものですか。

**A**：すでに、収穫可能な成木がある果樹園を地権者から豊田市が借入れます。研修生は、そこで、1年間の作業を体験することになります。

**Q**：途中で辞めた場合は、何かペナルティがありますか？

**A**：農業を生涯の職業にすると強い意志で考えている人を募集しますが、やむを得ない理由により研修や営農が続けられなくなった場合は、農業次世代人材投資事業による交付金の返還が必要となります。  
また、研修修了後に独立自営しなかった場合も農業次世代人材投資事業（準備型）の返還が必要となります。

**Q**：独立自営就農をする際の条件はありますか。

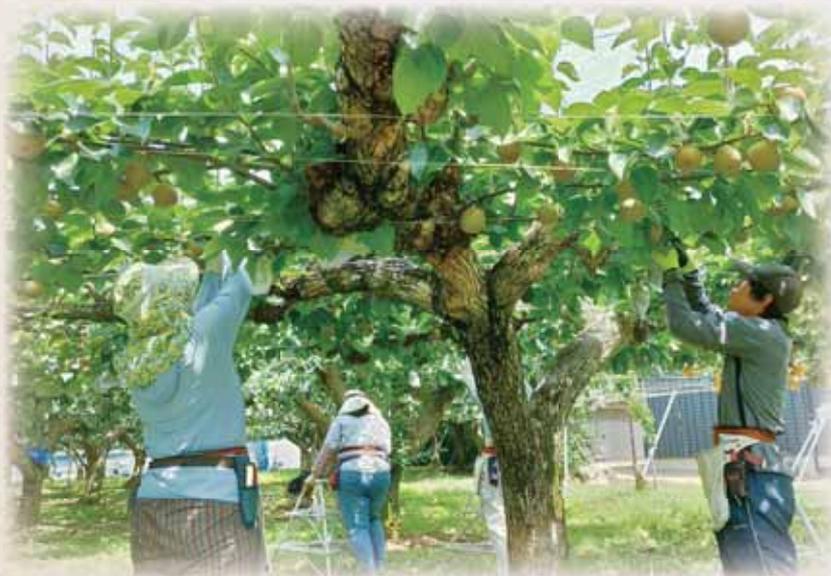
**A**：研修修了後、1年以内に独立自営を開始し、豊田市の桃・梨産地振興に貢献していただきます。

**Q**：研修の1日のスケジュールを教えてください。

**A**：里親農家での研修は里親農家の作業日程によりますので、一概には言えませんが、1日6時間程度の研修になります。

**Q**：アルバイトはしても良いですか。

**A**：研修に支障のない範囲でアルバイトするのは構いませんが、里親農家で働くことはできません。



## 豊田市農ライフ創生センター

開所時間：月曜日～金曜日 午前8時30分～午後5時15分

郵便番号：〒470-0373

住 所：愛知県豊田市四郷町松本105番地1

電 話：0565-43-0340

F A X：0565-43-0341

E-mail：nou-life@city.toyota.aichi.jp

